

# 令和7年度 大田区障がい者実態調査結果報告書

※（医療的ケア児・者に係る部分を抜粋）

18歳以上調査  
18歳未満調査  
サービス提供事業所調査



© 大田区

令和8年3月  
大 田 区

この冊子は音声コード付きです。  
右のマークが音声コードで、コードの位置を示すために切り込みを入れています。  
専用の読み上げ装置を使用して読み取ることで、音声で内容を読み取ることができます。



## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

障がい児・者の増加や高齢化、障がいの重度化・重複化等により、障がい児・者に対する支援のニーズはますます多様化・複雑化している。これらに対応するため、大田区では「おおた障がい施策推進プラン」のもと障がいのある人もない人も互いに認め合いながら共生できる地域づくりをめざし、包括的な支援体制の整備を進めている。

今後の障がい福祉施策をさらに推進させるためには、次期「おおた障がい施策推進プラン（大田区障害者計画、第8期大田区障害福祉計画、第4期大田区障害児福祉計画、大田区発達障がい児・者支援計画）」の策定にあたり、障がい児・者を取り巻く状況や課題について最新のデータの収集、把握は不可欠である。

そのため、計画策定に向け障がい児・者の生活状況や障害福祉サービス等の利用状況、さらにサービス提供事業者の実態などを調査し、これらの結果をもとに障がい特性に応じた支援ニーズ等を様々な視点から分析するための基礎資料を得ることを目的に大田区障がい者実態調査を実施した。

### 2. 調査実施概要

#### （1）調査対象・調査票発送数

区内在住の障がい児・者、区内でサービスを提供している事業所を対象に調査を実施した。

##### 1）18歳以上調査送付数：6,000件

| 障がい種別               |                 | 送付数<br>(抽出数) |
|---------------------|-----------------|--------------|
| 身体障害者手帳所持者          | 視覚障がい           | 500          |
|                     | 聴覚・平衡機能障がい      | 500          |
|                     | 音声・言語・そしゃく機能障がい | 170          |
|                     | 肢体不自由           | 1,000        |
|                     | 内部障がい           | 800          |
| 愛の手帳所持者             |                 | 1,000        |
| 精神障害者保健福祉手帳所持者      |                 | 915          |
| 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者 |                 | 315          |
| 特定医療費受給者証所持者        |                 | 800          |
| 合計                  |                 | 6,000        |

※障がい種別ごとに送付数を割り当てた上での無作為抽出



2) 18歳未満調査送付数：2,000件

| 障がい種別               |                 | 送付数<br>(抽出数) |
|---------------------|-----------------|--------------|
| 身体障害者手帳所持者          | 視覚障がい           | 17           |
|                     | 聴覚・平衡機能障がい      | 46           |
|                     | 音声・言語・そしゃく機能障がい | 1            |
|                     | 肢体不自由           | 184          |
|                     | 内部障がい           | 69           |
| 愛の手帳所持者             |                 | 901          |
| 精神障害者保健福祉手帳所持者      |                 | 103          |
| 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者 |                 | 17           |
| 特定医療費受給者証所持者        |                 | 6            |
| 通所受給者証所持者           |                 | 656          |
| 合計                  |                 | 2,000        |

※障がい種別ごとに送付数を割り当てた上での無作為抽出

3) サービス提供事業所調査送付数：250件

| 事業所の種類             | 送付数<br>(抽出数) |
|--------------------|--------------|
| 指定障害福祉サービス事業者      | 184          |
| 指定障害者支援施設          | 2            |
| 指定一般・特定・障害児相談支援事業者 | 23           |
| 指定障害児通所支援事業者       | 41           |
| 合計                 | 250          |

※事業所の種類ごとに送付数を割り当てた上での無作為抽出

(2) 調査期間

令和7年11月5日（水）～11月30日（日）

(3) 調査方法

郵送発送、郵送及びインターネットによる回答



### 3. 回収結果

【回収率＝（有効回答数＋無効回答数）／発送数】

| 調査種別         | 発送数     | 有効回答数   | 無効回答数 | 回収率    |
|--------------|---------|---------|-------|--------|
| ①18歳以上調査     | 6,000 件 | 3,198 件 | 39 件  | 54.0 % |
| ②18歳未満調査     | 2,000 件 | 1,010 件 | 6 件   | 50.8 % |
| ③サービス提供事業所調査 | 250 件   | 138 件   | 3 件   | 56.4 % |
| 合計           | 8,250 件 | 4,346 件 | 48 件  | 53.3 % |

※無効回答：白紙回答や調査対象期間を大幅に超過して届いたものなど

### 4. 調査結果の見方

#### （1）障がいの特性を踏まえた分析について

各設問における分析にあたっては、障がいの特性を踏まえるため、以下の分類により行った。略称については、分類自体が回答者の回答に基づくものでもあり、困りごとなど共通した傾向が見られやすいと思われる枠組みとしてつけたものであるため、一般的な、身体障がい、知的障がい、精神障がい等と完全に重なるものではない。また、各分類において重複が発生しうることには留意が必要である。

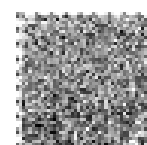
#### ①各障がい種別の分類方法

| 略称   | 分類方法                                 |
|------|--------------------------------------|
| 【身体】 | 身体障害者手帳を持っていると回答した方                  |
| 【知的】 | 愛の手帳を持っていると回答した方                     |
| 【精神】 | 精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療受給者証を持っていると回答した方 |
| 【難病】 | 特定医療費受給者証を持っていると回答した方                |
| 【発達】 | 発達障がいと診断・認定されたと回答した方                 |
| 【高次】 | 高次脳機能障がいと診断・認定されたと回答した方              |
| 【強行】 | 強度行動障がいと診断・認定されたと回答した方               |
| 【重心】 | 重度心身障がいと診断・認定されたと回答した方               |

また、特に、身体障がいのある方について、さらに詳しく分析を行う場合は、同様に以下の分類のもと、次の略称を用いる。

#### ②身体障がいのある方の詳細分析における分類方法

| 略称   | 分類方法                             |
|------|----------------------------------|
| 【視覚】 | 視覚障がいと診断・認定されたと回答した方             |
| 【聴覚】 | 聴覚・平衡機能障がいと診断・認定されたと回答した方        |
| 【音声】 | 音声・言語・そしゃく機能障がいと診断・認定されたと回答した方   |
| 【体幹】 | 体幹や上肢下肢などの運動機能障がいと診断・認定されたと回答した方 |
| 【内部】 | 内臓や免疫機能などの内部障がいと診断・認定されたと回答した方   |



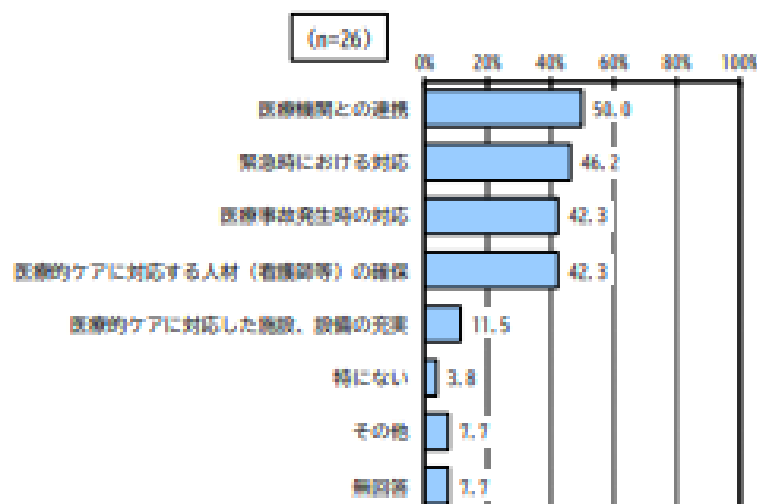
#### (4) 保健・医療支援体制の充実

- 18 歳以上では障がいの重度化や病気の悪化への不安が見受けられ、18 歳未満では移行期医療に関する不安がうかがえます。
- 医療的ケア児・者等への適切な情報提供やサービスの充実及び人材の確保に向けた支援の充実が求められています。

- ・健康や医療についての不安、困っていることについて、18 歳以上は、「特にない」(31.6%)を除くと「障がいの重度化や病気が悪くなる」(26.0%)が共通して多くなっています。障がい種別にみると、18 歳以上は[知的]、[精神]、[発達]、[高次]で「今のかかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安」(知的：19.2%、精神：23.2%、発達：27.1%、高次：21.8%)が多くなっています。
- ・18 歳未満(※)の健康や医療についての不安、困っていることについて、「特にない」(40.8%)を除くと、[身体]では「障がいの重度化や病気が悪くなる」(33.0%)、[知的]と[精神]では「今のかかりつけの医師にいつまで診てもらえるか不安」(知的：32.2%、精神：36.8%)が最も多くなっています。
- ・サービス事業所の現在の医療的ケアへの対応状況は、「医療的ケア者に対応している」が15.9%、「現在対応しておらず、今後対応の予定はない」が64.5%、「現在対応していないが、今後検討する」が12.3%となっています。
- ・東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者は、予定者も含めて9.4%と1割を切っています。研修受講に前向きでない理由は、「現状のサービス提供で医療的ケア児の支援がないため」が55.4%で最も多いものの、「相談支援専門員や、保健師、看護師などコーディネーターに適任な職員がいないため」が24.8%、「コーディネーターの配置に対する経済的なインセンティブが少ない」が20.7%となっています。
- ・現在医療的ケアを実施している事業所の課題については、「医療機関との連携」が50.0%で最も多く、次いで「緊急時における対応」が46.2%、「医療事故発生時の対応」と「医療的ケアに対応する人材(看護師等)の確保」がともに42.3%となっており、医療機関との連携と医療的ケアに対応できる職員の確保が課題となっています。

※18 歳未満の[難病]や[高次]においては、集計対象件数が10 件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため考察を省略しています。

【医療的ケアを実施する上での課題（サービス提供事業所）】

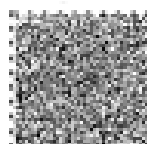
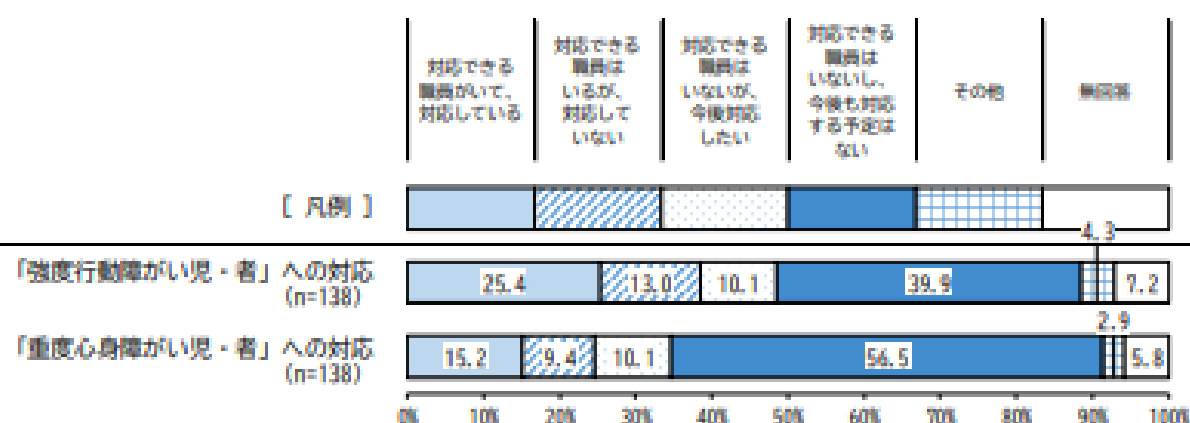


## (6) 障がい特性に応じた支援の充実

○発達障がい、高次脳機能障がい、強度行動障がい、重度心身障がいなど、より個々の特性に応じた配慮が必要な障がいに対し、各特性に基づいた相談支援と情報提供の充実を望む声が寄せられています。

- ・ 認定・診断を受けている障がい種別について、「発達障がい」と回答した方は、18歳以上では6.9%、18歳未満では55.0%となっています。また、「高次脳機能障がい」と回答した方は、18歳以上では2.7%、18歳未満では0.9%、「強度行動障がい」と回答した方は、18歳以上では0.8%、18歳未満では1.5%、「重度心身障がい」と回答した方は、18歳以上では1.7%、18歳未満では4.4%となっています。
- ・ 障害福祉サービスを利用しやすくするために必要だと思うことについて、18歳以上では、[発達]は「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」(52.5%)、[高次]と[強行]は「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」(高次：39.1%、強行：76.0%)、[重心]は「重度の障がいや医療的ケアにも対応できること」(60.4%)が最も多くなっています。18歳未満では、[発達]、[高次]、[強行]、[重心]のすべてにおいて、「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」(発達：65.0%、高次：88.9%、強行：80.0%、重心：84.1%)が最も多くなっています。また、[重心]は「重度の障がいや医療的ケアにも対応できること」も84.1%で最も多くなっています。
- ・ 日常生活での困りごと・相談したいことについて、「親が亡くなった後のこと」との回答が多くなっています。また、18歳未満の[高次]、[強行]、[重心]と18歳以上の[重心]では「身の回りの介助をしてくれる人のこと」や「相談できる人がいないこと」との回答が多く見られます。
- ・ サービス事業所の、強度行動障がい児・者、及び、重度心身障がい児・者への対応については、「対応できる職員がいて、対応している」との回答が強度行動障がい児・者は25.4%、重度心身障がい児・者は15.2%となっています。また、各事業所に対応する場合の課題（自由記述）では、「人材確保」「知識・技術の不足や偏り」「環境整備」に関する回答が多く見られました。

【「強度行動障がい児・者」「重度心身障がい児・者」への対応状況（サービス提供事業所）】

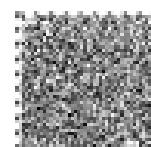
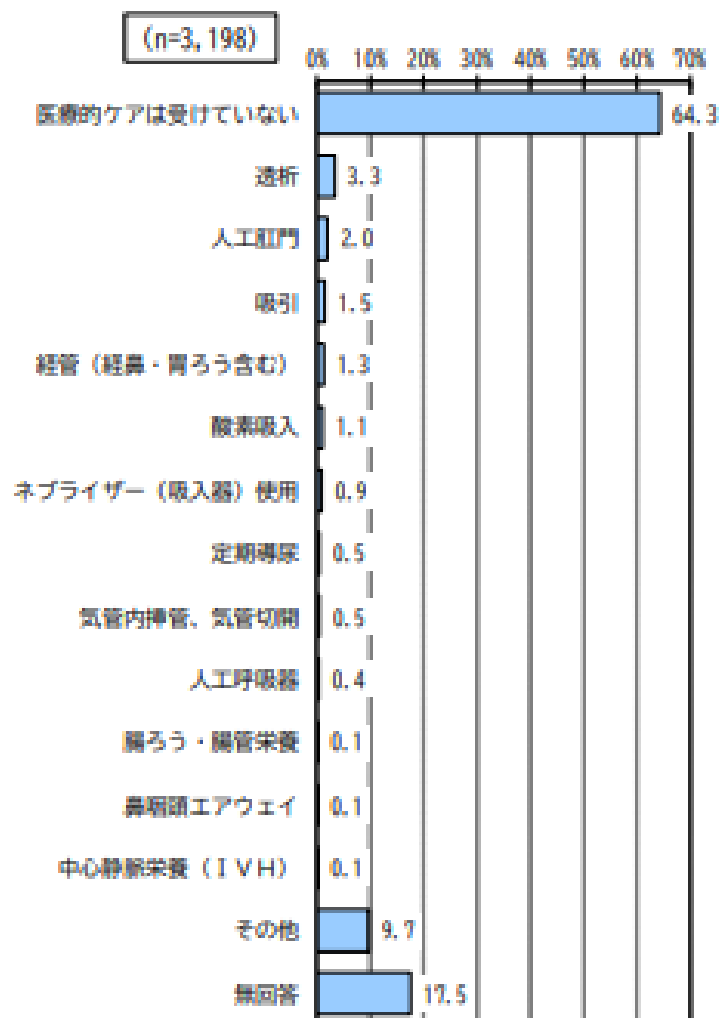


## 7) 医療的ケアの有無

- 医療的ケアの有無について、18 歳以上の方全体では、「医療的ケアは受けていない」が 64.3%で最も多く、次いで「透析」が 3.3%、「人工肛門」が 2.0%となっています。
- なお、「その他」では、「服薬管理」、「インスリン注射」などがあります。

【18 歳以上 問 3】 あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。（複数回答）

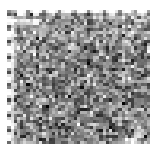
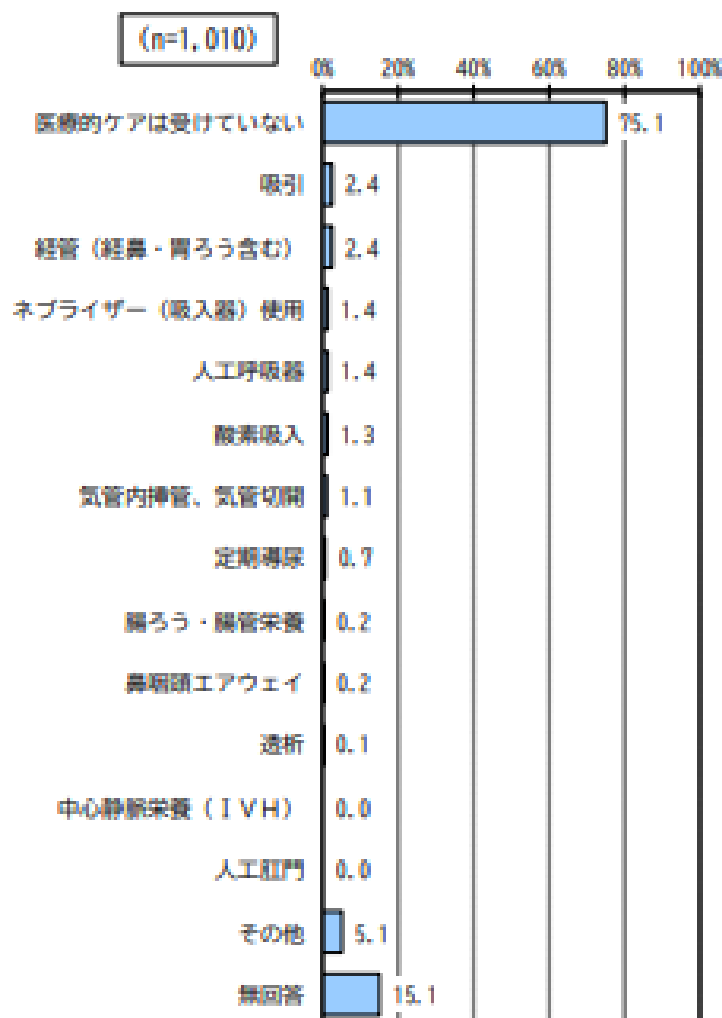
【医療的ケアの有無（18 歳以上）】



- 18 歳未満の方全体では、「医療的ケアは受けていない」が 75.1%で最も多く、次いで「吸引」「経管（経鼻・胃ろう含む）」が 2.4%、「ネブライザー（吸入器）使用」「人工呼吸器」が 1.4%となっています。
- なお、「その他」では、「服薬管理」、「排便管理（浣腸・洗腸・摘便）」などがあります。

【18 歳未満 問 3】 あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。（複数回答）

【医療的ケアの有無（18 歳未満）】

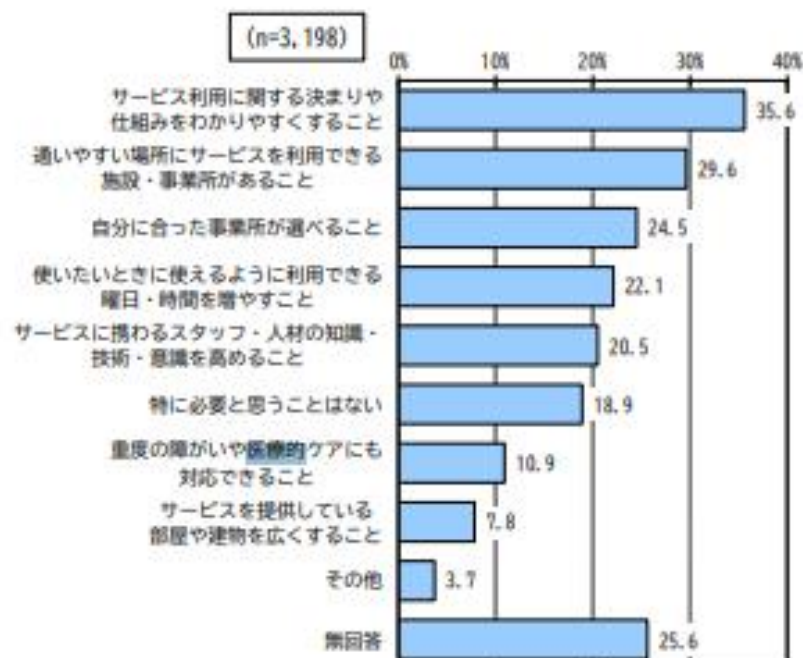


## (2) サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと

- サービスを利用しやすくするために必要だと思うことについて、18 歳以上の方全体では、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」が 35.6%で最も多く、次いで「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」が 29.6%、「自分に合った事業所が選べること」が 24.5%となっています。

【18 歳以上 問 10】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。(複数回答)

【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと (18 歳以上)】



【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと (18 歳以上) (障がい種別)】

単位: %

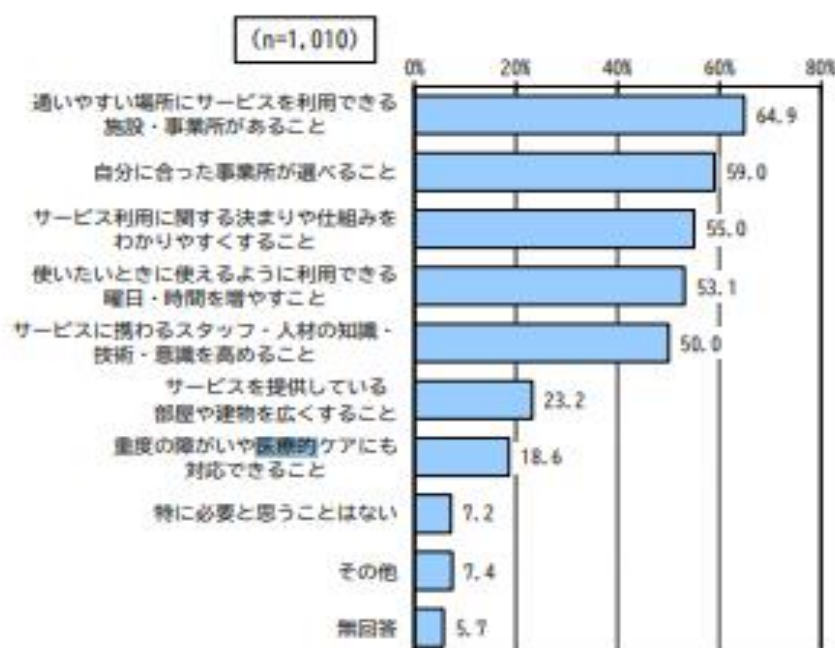
| 回答者数(人)     | 特に必要と思うことはない | サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること | 自分に合った事業所が選べること | 重度の障がいや医療的ケアにも対応できること | 使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと | サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること | サービスを提供している部屋や建物を広げること | 通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること | その他  | 無回答  |
|-------------|--------------|------------------------------|-----------------|-----------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------|-------------------------------|------|------|
| 全体(n=3,198) | 18.9         | 35.6                         | 24.5            | 10.9                  | 22.1                          | 20.5                           | 7.8                    | 29.6                          | 3.7  | 25.6 |
| 障がい種別       |              |                              |                 |                       |                               |                                |                        |                               |      |      |
| 身体(n=1,722) | 19.7         | 34.5                         | 22.0            | 12.1                  | 20.6                          | 17.8                           | 6.9                    | 26.0                          | 3.0  | 27.5 |
| 知的(n=588)   | 15.0         | 44.6                         | 38.3            | 20.9                  | 35.5                          | 36.2                           | 14.5                   | 46.1                          | 4.4  | 13.8 |
| 精神(n=760)   | 16.6         | 39.1                         | 30.4            | 7.8                   | 25.1                          | 23.4                           | 8.0                    | 35.0                          | 6.4  | 20.7 |
| 難病(n=730)   | 19.7         | 34.7                         | 19.7            | 11.2                  | 19.3                          | 17.5                           | 7.4                    | 26.2                          | 2.3  | 30.0 |
| 発達(n=221)   | 13.6         | 52.5                         | 42.5            | 11.8                  | 37.6                          | 33.0                           | 15.8                   | 48.4                          | 6.8  | 9.5  |
| 高次(n=87)    | 13.8         | 35.6                         | 32.2            | 11.5                  | 23.0                          | 23.0                           | 9.2                    | 39.1                          | 4.6  | 23.0 |
| 強行(n=25)    | -            | 52.0                         | 44.0            | 56.0                  | 64.0                          | 68.0                           | 40.0                   | 76.0                          | 8.0  | 20.0 |
| 重心(n=53)    | 5.7          | 50.9                         | 45.3            | 60.4                  | 47.2                          | 50.9                           | 24.5                   | 58.5                          | 13.2 | 13.2 |



- 18 歳未満の方全体では、「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」が 64.9%で最も多く、次いで「自分に合った事業所が選べること」が 59.0%、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」が 55.0%となっています。

【18 歳未満 問 8】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。（複数回答）

【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18 歳未満）】



【サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと（18 歳未満）（障がい種別）】

単位：%

| 回答者数（人）     |           | 特に必要と思うことはない | サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること | 自分に合った事業所が選べること | 重度の障がいや医療的ケアにも対応できること | 使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと | サービスに携わるスタッフ・人材の知識・技術・意識を高めること | サービスを提供している部屋や建物を広げること | 通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること | その他  | 無回答  |
|-------------|-----------|--------------|------------------------------|-----------------|-----------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------|-------------------------------|------|------|
| 全体(n=1,010) |           | 7.2          | 55.0                         | 59.0            | 18.6                  | 53.1                          | 50.0                           | 23.2                   | 64.9                          | 7.4  | 5.7  |
| 障がい種別       | 身体(n=182) | 8.2          | 61.0                         | 53.8            | 44.0                  | 57.1                          | 47.8                           | 23.1                   | 63.7                          | 6.6  | 8.2  |
|             | 知的(n=550) | 5.8          | 60.0                         | 67.8            | 25.5                  | 60.7                          | 60.4                           | 30.0                   | 72.4                          | 7.8  | 3.3  |
|             | 精神(n=68)  | 5.9          | 57.4                         | 54.4            | 8.8                   | 50.0                          | 39.7                           | 19.1                   | 55.9                          | 10.3 | 13.2 |
|             | 難病(n=3)   | -            | 66.7                         | 33.3            | -                     | 33.3                          | 33.3                           | -                      | 33.3                          | -    | -    |
|             | 発達(n=555) | 6.5          | 54.1                         | 62.5            | 15.0                  | 55.5                          | 50.5                           | 22.7                   | 65.0                          | 8.3  | 4.5  |
|             | 高次(n=9)   | -            | 77.8                         | 44.4            | 44.4                  | 77.8                          | 55.6                           | 22.2                   | 88.9                          | 11.1 | -    |
|             | 強行(n=15)  | 6.7          | 73.3                         | 66.7            | 60.0                  | 66.7                          | 66.7                           | 40.0                   | 80.0                          | 6.7  | -    |
|             | 重心(n=44)  | 2.3          | 61.4                         | 61.4            | 84.1                  | 77.3                          | 63.6                           | 34.1                   | 84.1                          | 9.1  | 4.5  |

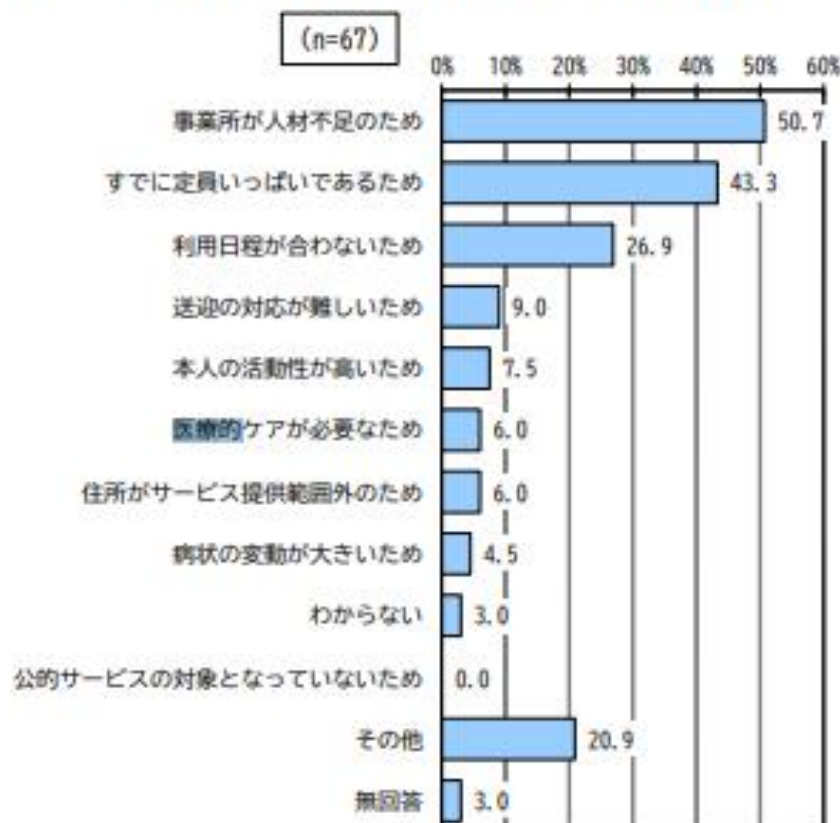


## (6) サービス利用を事業者から断られた理由

- サービス利用を事業者から断られた理由について、18 歳以上の方全体では、「事業所が人材不足のため」が 50.7%で最も多く、次いで「すでに定員いっぱいであるため」が 43.3%、「利用日程が合わないため」が 26.9%となっています。

【18 歳以上 問 13-2】事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(複数回答)

【サービス利用を事業者から断られた理由 (18 歳以上)】



【サービス利用を事業者から断られた理由 (18 歳以上) (障がい種別)】

単位: %

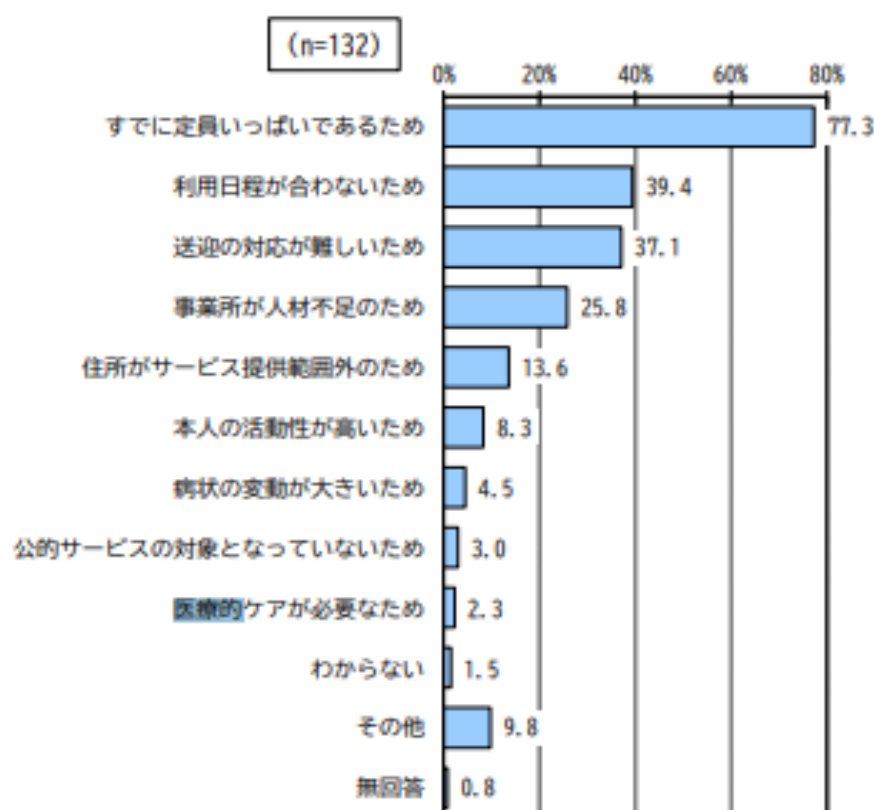
| 回答者数(人)  |          | 医療的ケアが必要なため | 本人の活動性が高いため | 住所がサービス提供範囲外のため | 病状の変動が大きい | 事業所が人材不足のため | すでに定員いっぱいであるため | 利用日程が合わないため | 送迎の対応が難しいため | 公的サービスの対象となっていないため | わからない | その他  | 無回答 |
|----------|----------|-------------|-------------|-----------------|-----------|-------------|----------------|-------------|-------------|--------------------|-------|------|-----|
| 全体(n=67) |          | 6.0         | 7.5         | 6.0             | 4.5       | 50.7        | 43.3           | 26.9        | 9.0         | -                  | 3.0   | 20.9 | 3.0 |
| 障がい種別    | 身体(n=31) | 9.7         | 3.2         | 9.7             | 6.5       | 61.3        | 51.6           | 29.0        | 12.9        | -                  | -     | 16.1 | 3.2 |
|          | 知的(n=45) | 6.7         | 11.1        | 2.2             | 4.4       | 51.1        | 42.2           | 22.2        | 8.9         | -                  | 4.4   | 22.2 | 2.2 |
|          | 精神(n=15) | -           | -           | 6.7             | -         | 46.7        | 60.0           | 46.7        | -           | -                  | -     | 26.7 | -   |
|          | 難病(n=7)  | -           | -           | 14.3            | -         | 28.6        | 57.1           | 28.6        | -           | -                  | -     | 42.9 | -   |
|          | 発達(n=14) | 7.1         | 7.1         | 7.1             | -         | 57.1        | 21.4           | 35.7        | 7.1         | -                  | -     | 35.7 | -   |
|          | 高次(n=3)  | -           | -           | 33.3            | 33.3      | 33.3        | -              | -           | -           | -                  | -     | -    | -   |



- 18 歳未満の方全体では、「すでに定員いっぱいであるため」が 77.3%で最も多く、次いで「利用日程が合わないため」が 39.4%、「送迎の対応が難しいため」が 37.1%となっています。

【18 歳未満 問 11-2】事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(複数回答)

【サービス利用を事業者から断られた理由 (18 歳未満)】



【サービス利用を事業者から断られた理由 (18 歳未満) (障がい種別)】

単位: %

| 回答者数 (人)  | 医療的ケアが必要なため | 本人の活動性が高いため | 住所がサービス提供範囲外のため | 病状の変動が大きい | 事業所が人材不足のため | すでに定員いっぱいであるため | 利用日程が合わないため | 送迎の対応が難しいため | 公的サービスの対象となっていないため | わからない | その他   | 無回答 |
|-----------|-------------|-------------|-----------------|-----------|-------------|----------------|-------------|-------------|--------------------|-------|-------|-----|
| 全体(n=132) | 2.3         | 8.3         | 13.6            | 4.5       | 25.8        | 77.3           | 39.4        | 37.1        | 3.0                | 1.5   | 9.8   | 0.8 |
| 障がい種別     |             |             |                 |           |             |                |             |             |                    |       |       |     |
| 身体(n=28)  | -           | 21.4        | 21.4            | 10.7      | 25.0        | 67.9           | 42.9        | 35.7        | -                  | -     | 10.7  | -   |
| 知的(n=97)  | 2.1         | 9.3         | 15.5            | 5.2       | 26.8        | 77.3           | 37.1        | 38.1        | 2.1                | 2.1   | 9.3   | -   |
| 精神(n=7)   | -           | -           | 14.3            | 14.3      | 28.6        | 100.0          | 71.4        | 42.9        | 14.3               | -     | -     | -   |
| 難病(n=1)   | -           | -           | -               | -         | -           | -              | 100.0       | -           | -                  | -     | 100.0 | -   |
| 発達(n=78)  | 3.8         | 7.7         | 17.9            | 6.4       | 26.9        | 71.8           | 34.6        | 34.6        | 2.6                | 2.6   | 7.7   | 1.3 |
| 高次(-)     | -           | -           | -               | -         | -           | -              | -           | -           | -                  | -     | -     | -   |

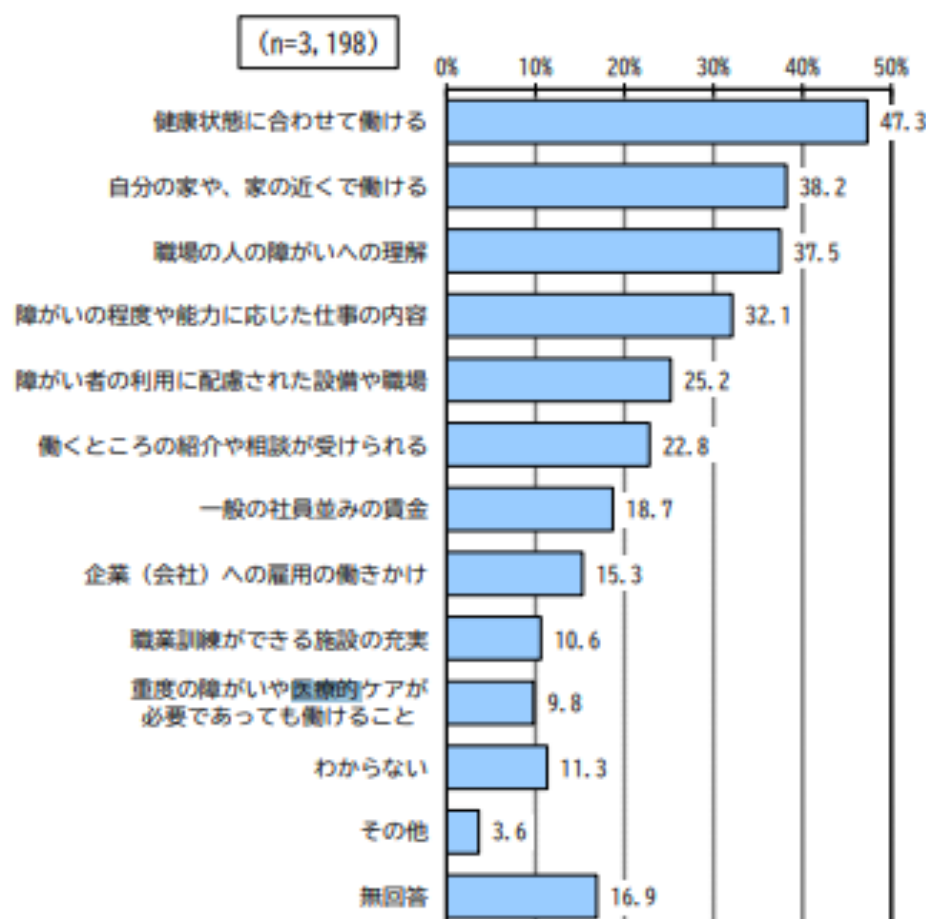


#### (4) 障がい者が就労する上で大切だと思うこと (18歳以上)

- 障がい者が就労する上で大切だと思うことについて、18歳以上の方全体では、「健康状態に合わせて働ける」が47.3%で最も多く、次いで「自分の家や、家の近くで働ける」が38.2%、「職場の人の障がいへの理解」が37.5%となっています。

【18歳以上 問23】 あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのようなことが大切だと思いますか。(複数回答)

#### 【障がい者が就労する上で大切だと思うこと (18歳以上)】

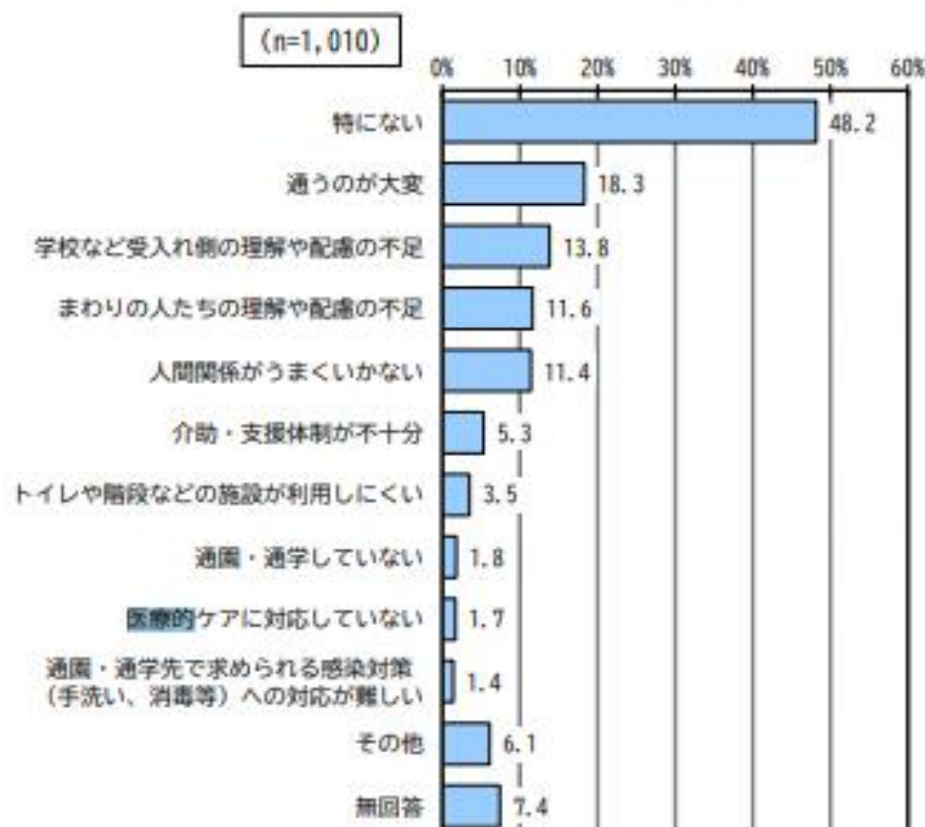


# (5) 通園・通学での困りごと (18歳未満)

- 通園・通学での困りごとについて、18歳未満の方全体では、「特にない」が48.2%で最も多く、次いで「通うのが大変」が18.3%、「学校など受入れ側の理解や配慮の不足」が13.8%となっています。

【18歳未満 問20】 あなたは、通園や通学で困っていることがありますか。(複数回答)

## 【通園・通学での困りごと (18歳未満)】



## 【通園・通学での困りごと (18歳未満) (障がい種別)】

単位：%

| 回答者数(人)     |           | 通うのが大変 | トイレや階段などの施設が利用しにくい | 介助・支援体制が不十分 | 学校など受入れ側の理解や配慮の不足 | まわりの人たちの理解や配慮の不足 | 人間関係がうまくいかない | 通園・通学先で求められる感染対策(手洗い、消毒等)への対応が難しい | 医療的ケアに対応していない | 特にない | 通園・通学していない | その他  | 無回答  |
|-------------|-----------|--------|--------------------|-------------|-------------------|------------------|--------------|-----------------------------------|---------------|------|------------|------|------|
| 全体(n=1,010) |           | 18.3   | 3.5                | 5.3         | 13.8              | 11.6             | 11.4         | 1.4                               | 1.7           | 48.2 | 1.8        | 6.1  | 7.4  |
| 障がい種別       | 身体(n=182) | 23.6   | 8.8                | 7.1         | 11.5              | 8.8              | 2.7          | 1.1                               | 4.9           | 45.1 | 3.3        | 5.5  | 9.3  |
|             | 知的(n=550) | 21.3   | 3.6                | 5.6         | 12.0              | 9.1              | 7.3          | 1.8                               | 1.1           | 51.5 | 0.2        | 5.8  | 6.9  |
|             | 精神(n=68)  | 20.6   | -                  | 5.9         | 25.0              | 23.5             | 26.5         | -                                 | 2.9           | 32.4 | 4.4        | 14.7 | 8.8  |
|             | 難病(n=3)   | 33.3   | -                  | -           | 33.3              | 33.3             | -            | -                                 | -             | 33.3 | -          | -    | 33.3 |
|             | 発達(n=555) | 17.5   | 2.3                | 5.0         | 16.2              | 13.2             | 15.5         | 1.3                               | 1.6           | 46.5 | 1.6        | 6.1  | 7.2  |
|             | 高次(n=9)   | 33.3   | -                  | -           | -                 | 11.1             | -            | -                                 | -             | 33.3 | -          | -    | 22.2 |

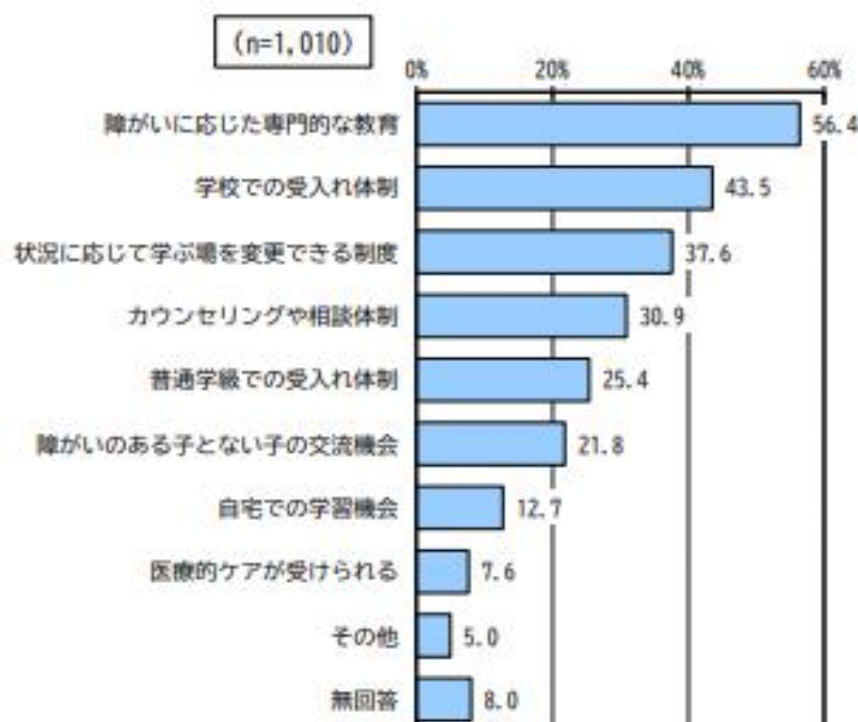


(6) 教育の場面において、特に充実させてほしいこと (18歳未満)

- 教育の場面で特に充実してほしいことについて、18歳未満の方全体では、「障がいに応じた専門的な教育」が56.4%で最も多く、次いで「学校での受入れ体制」が43.5%、「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」が37.6%となっています。

【18歳未満 問21】 あなたが、教育の場面において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。  
(複数回答)

【教育の場面で特に充実してほしいこと (18歳未満)】



【教育の場面で特に充実してほしいこと (18歳未満) (障がい種別)】

単位: %

| 回答者数(人)     |           | 障がいに応じた専門的な教育 | 学校での受入れ体制 | 普通学級での受入れ体制 | 状況に応じて学ぶ場を変更できる制度 | 障がいのある子とない子の交流機会 | 医療的ケアが受けられる | 自宅での学習機会 | カウンセリングや相談体制 | その他  | 無回答  |
|-------------|-----------|---------------|-----------|-------------|-------------------|------------------|-------------|----------|--------------|------|------|
| 全体(n=1,010) |           | 56.4          | 43.5      | 25.4        | 37.6              | 21.8             | 7.6         | 12.7     | 30.9         | 5.0  | 8.0  |
| 障がい種別       | 身体(n=182) | 54.4          | 40.1      | 24.7        | 29.7              | 22.0             | 18.7        | 9.9      | 17.6         | 3.3  | 13.7 |
|             | 知的(n=550) | 69.8          | 39.1      | 16.4        | 33.6              | 26.2             | 8.0         | 10.7     | 30.5         | 5.3  | 6.7  |
|             | 精神(n=68)  | 60.3          | 55.9      | 27.9        | 45.6              | 20.6             | 10.3        | 25.0     | 44.1         | 5.9  | 7.4  |
|             | 難病(n=3)   | 33.3          | 33.3      | 33.3        | -                 | -                | -           | -        | -            | -    | 33.3 |
|             | 発達(n=555) | 56.6          | 42.5      | 27.0        | 42.3              | 20.4             | 5.8         | 14.2     | 34.8         | 5.8  | 7.0  |
|             | 高次(n=9)   | 55.6          | 33.3      | -           | 22.2              | 22.2             | 22.2        | 22.2     | 22.2         | 11.1 | 11.1 |

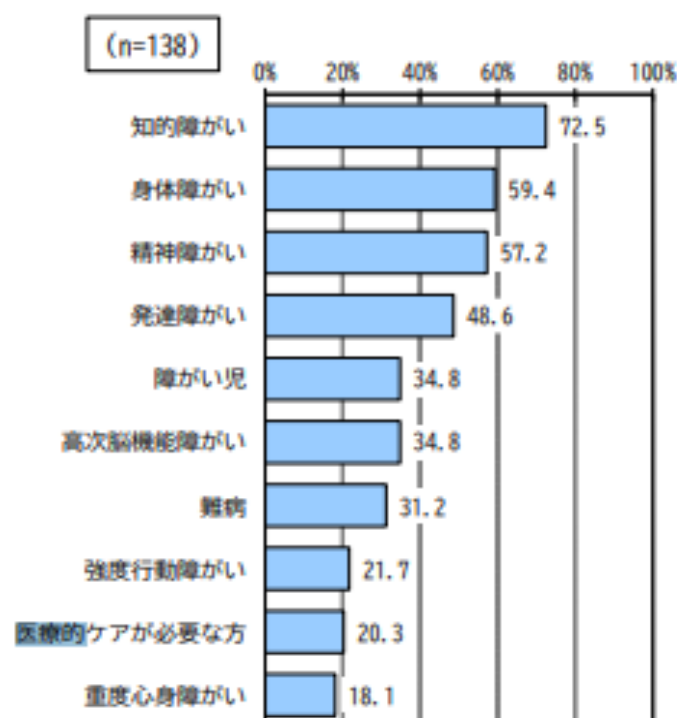


## (7) 対応している障がい種別

- 対応障がい種別について、「知的障がい」が 72.5%で最も多く、次いで「身体障がい」が 59.4%、「精神障がい」が 57.2%となっています。

【事業所 問 7】 貴事業所において、対応している障がい種別等は何ですか。(複数回答)

【対応している障がい種別】



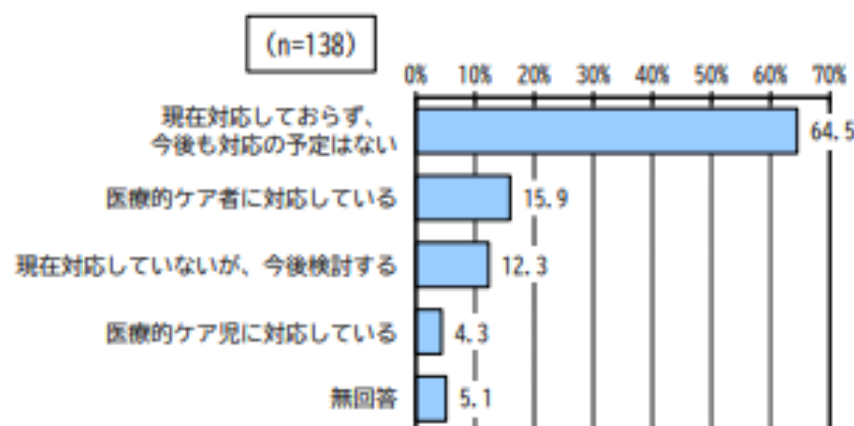
## (6) 医療的ケアへの対応

### 1) 医療的ケアへの対応状況

- 医療的ケアへの対応状況について、「現在対応しておらず、今後対応の予定はない」が 64.5%で最も多く、次いで「医療的ケア者に対応している」が 15.9%、「現在対応していないが、今後検討する」が 12.3%となっています。

【事業所 問 11-1】 貴事業所では、「医療的ケア」に対応していますか。(複数回答)

【医療的ケアへの対応状況】



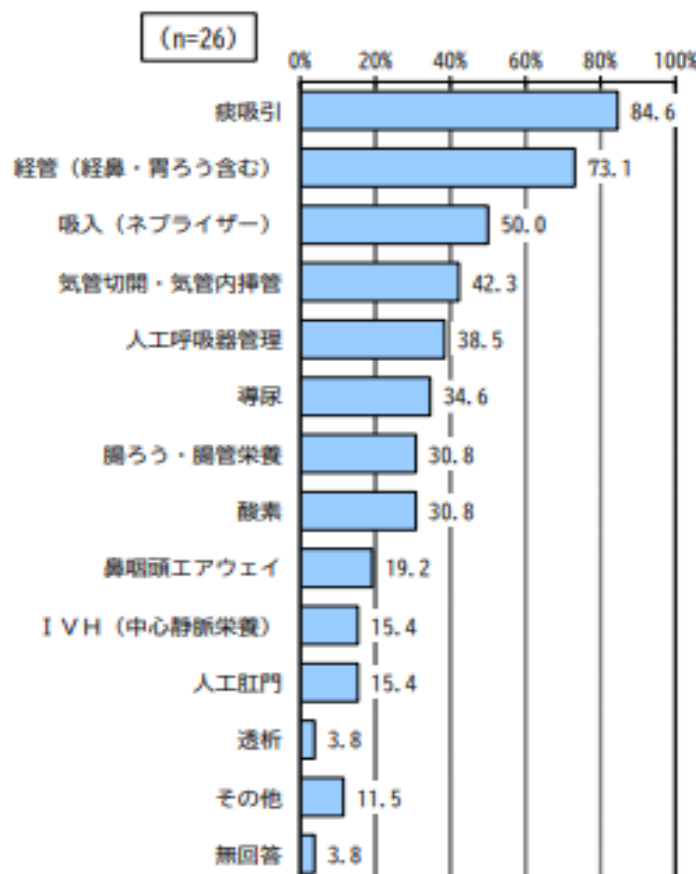
339

### 2) 対応している医療的ケアの内容

- 対応している医療的ケアの内容について、「痰吸引」が 84.6%で最も多く、次いで「経管（経鼻・胃ろう含む）」が 73.1%、「吸入（ネブライザー）」が 50.0%となっています。

【事業所 問 11-2】 対応している医療的ケアは何ですか。(複数回答)

【対応している医療的ケアの内容】

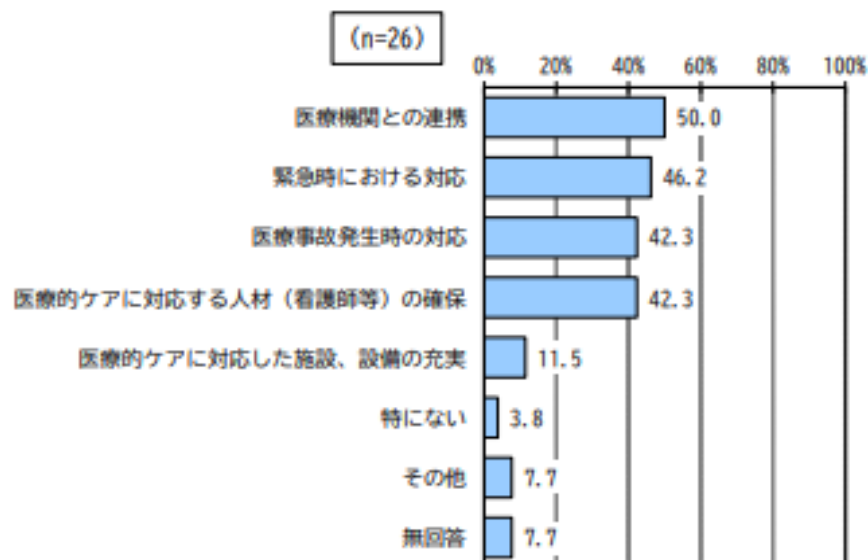


### 3) 医療的ケアを実施する上での課題

- 医療的ケアを実施する上での課題について、「医療機関との連携」が 50.0%で最も多く、次いで「緊急時における対応」が 46.2%、「医療事故発生時の対応」「医療的ケアに対応する人材（看護師等）の確保」が 42.3%となっています。

【事業所 問 11-3】 貴事業所で医療的ケアを実施するにあたって、課題はありますか。（複数回答）

【医療的ケアを実施する上での課題】

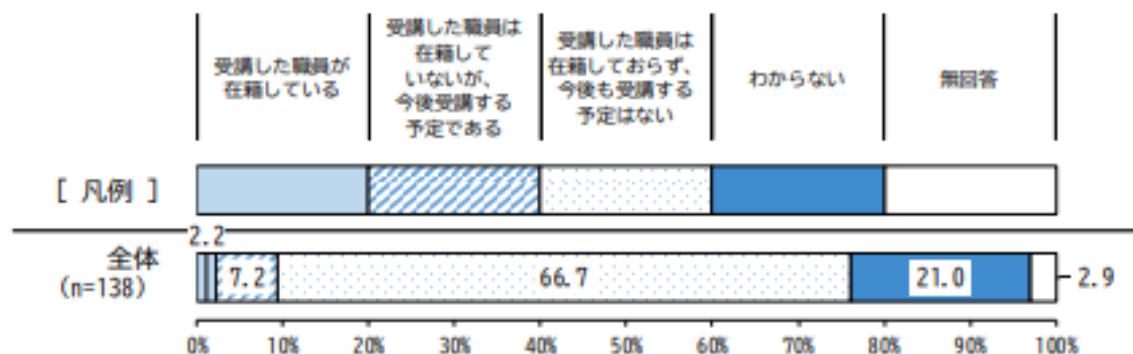


### 4) 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者・受講予定

- 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者・受講予定について、「受講した職員は在籍しておらず、今後も受講する予定はない」が 66.7%で最も多く、次いで「わからない」が 21.0%、「受講した職員は在籍していないが、今後受講する予定である」が 7.2%となっています。

【事業所 問 12-1】 貴事業所では、東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者が在籍していますか。また、今後、貴事業所における東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講予定はありますか。（単一回答）

【東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者・受講予定】

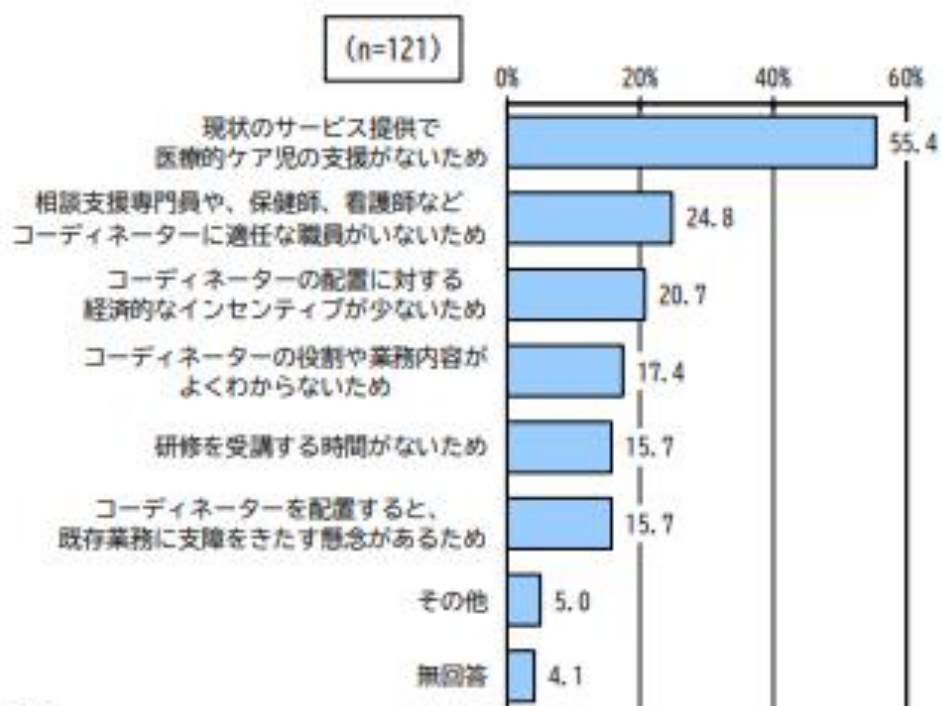


## 5) 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由

- 研修の受講に前向きでない理由について、「現状のサービス提供で医療的ケア児の支援がないため」が 55.4%で最も多く、次いで「相談支援専門員や、保健師、看護師などコーディネーターに適任な職員がいないため」が 24.8%、「コーディネーターの配置に対する経済的なインセンティブが少ない」が 20.7%となっています。

【事業所 問 12-2】東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由は何ですか。(複数回答)

【東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由】



## 2) 重度心身障がい児・者への対応の課題

- 重度心身障がい児・者への対応の課題について自由記述で尋ねたところ、48件の意見について6の大カテゴリに分類できました。このうち件数が多いものとしては、「人材確保」が18件、「環境整備」が11件、「知識・技術の不足や偏り」が9件となっています。

【事業所 問 14-2】 貴事業者で、重度心身障がい児・者を対応するにあつての課題は何ですか。

### 【重度心身障がい児・者への対応の課題】

| 大カテゴリ              | 小カテゴリ       | 件数        |
|--------------------|-------------|-----------|
| <b>人材確保</b>        |             | <b>18</b> |
|                    | 人材不足        | 10        |
|                    | 対応可能な人材の不足  | 8         |
| <b>環境整備</b>        |             | <b>11</b> |
|                    | 物理的なスペース不足  | 2         |
|                    | 設備不足        | 6         |
|                    | 医療的ケア対応     | 2         |
|                    | 法人の体力不足     | 1         |
| <b>知識・技術の不足や偏り</b> |             | <b>9</b>  |
|                    | 知識・技術の不足    | 4         |
|                    | 研修・育成の実施・拡大 | 5         |
| <b>報酬・加算、公的支援</b>  |             | <b>6</b>  |
|                    | 報酬不足        | 5         |
|                    | 公的支援        | 1         |
| <b>職員の負担</b>       |             | <b>2</b>  |
|                    | 心身への負担      | 2         |
| <b>利用者ニーズへの対応</b>  |             | <b>2</b>  |
|                    | 利用者ニーズへの対応  | 1         |
|                    | 保護者支援       | 1         |
| <b>総件数</b>         |             | <b>48</b> |

※本設問では、42事業所からの自由記述回答を意見内容で整理し、48件の意見を抽出しました。なお、「課題なし」、「事業が対象外」等の重度心身障がい児・者への対応の課題ではない意見7件を除いています。

